



第 68 回全国連合小学校長会 研究協議会高知大会 報 告

平成 28 年 10 月 27・28 日、高知県高知市で開催された第 68 回全連小研究協議会高知大会について報告する。大会主題の下、高知大会では「社会の変化に主体的に関わり 共に豊かな未来社会の創造に挑むこどもの育成」という副主題で開催された。

北海道からは、二つの提言

○研究領域Ⅰ 学校経営 第 1 分科会「経営ビジョン」

上川地区 名寄市立風連中央小学校が堀江 満 校長

○研究領域Ⅲ 指導育成 第 7 分科会「研究・研修」

渡島地区 松前町立松城小学校 小寺 廣次 校長 に発表をしていただいた。

発表者の先生、担当した地区の皆様に感謝を申し上げる。

運営面では、各会場に徒歩やバスで移動したが、高知県の運営サイドの細かな配慮により 2,600 人の参加者がスムーズに移動していた。分科会開始まで時間的に余裕があったので、ゆっくりと昼食を食べる時間があった。同じグループの校長先生と情報など交換することもできた。

2 日目のシンポジウムでは高知県ゆかりの会社社長、女優、直木賞作家の 3 名の職種の異なるシンポジストに、全連小調査研究部長がコーディネーターとして計 4 名で進められた。途中、時間が余りそうになったが、会場の参加者の協力により、終わりの時間にシンポジウムを終えることができた。シンポジストの人選には難しいものがあると感じた。

研究協議の鍵は分科会の充実である。分科会では全国各地の実践をもとに広く話し合わせ成果をあげたが、焦点化された深い話し合いについては、もう少し工夫が必要だったのではないかと参加者の声も聞こえた。

次年度の佐賀大会の閉会式には、平成 30 年度開催地 函館大会の紹介があるので、プレゼンの準備が今から必要であると感じた。